

NTTファイナンス株式会社が発行する「NTT グループグリーンボンド」への投資について

学校法人梅村学園(以下「本学園」)は、このたび、NTTファイナンス株式会社(以下「同社」)が発行するグリーンボンド(別称:NTTグループグリーンボンド、以下「本債券」)への投資を決定しましたので、お知らせします。

「グリーンボンド」とは、CO2削減等の環境改善効果を有する事業を対象とする資金調達を行うために発行される債券のことであり、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するグリーンボンド原則に適合する旨、サステナビリティクスからセカンドパーティオピニオンを取得しております。

同社を含むNTTグループは、2021年9月に新環境ビジョンを策定してカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを行っており、本債券の対象グリーンプロジェクトは、新規または既存のNTTグループによる5G関連投資、FTTH 関連投資、IOWN⁽²⁾構想の実現に向けた研究開発投資、再生可能エネルギープロジェクト(風力・太陽光)となっています。

本学園は2020年4月に公表した「第I期(2020年度-2023年度)中期経営計画」の中でSDGsへの取り組みを重点項目として掲げており、その達成に寄与していくことを表明しています。本債券への投資は、CO2排出量削減やエネルギー効率改善を通じた環境課題の解決、低炭素社会の実現に向けたイノベーション創出に貢献すると考え、投資を決定いたしました。

今後も、本学園は学校法人としての公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしてまいります。

- (1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと
- (2) IOWN(Innovative Optical and Wireless Network): あらゆる情報を基に個と全体との最適化を図り、多様性を受容できる豊かな社会を創るために、光を中心とした革新的技術を活用した高速大容量通信・低消費電力・低遅延のネットワーク・情報処理基盤